

持続可能な地域づくり シンポジウム

取組紹介（五城目町）

丑田 香澄

自己紹介



(社)ドゥーラ協会
「母親も、すくすく育つ世の中に。」



五城目町 地域おこし協力隊
「世界一こどもが育つまち」

BABAME BASE

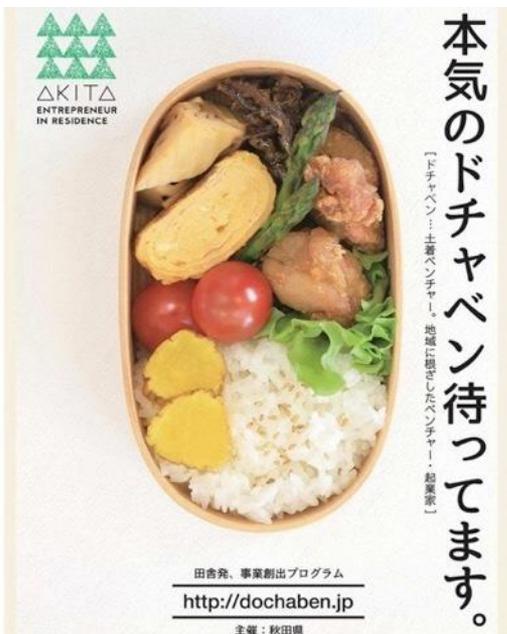
(五城目町地域活性化支援センター)

- ・旧馬場目小学校の木造校舎を活用した複合型オフィス
- ・2014年10月開設(町まちづくり課が管理運営)
- ・教育、農林業、デザイン、観光、IT、研修、ものづくり、ドローン等 10社以上が入居
- ・地域に根ざした起業家・企業の集積拠点として年間約5000人が県内外から来訪



事業創出の仕組み

- 「ドチャベン(土着ベンチャー)・アクセラレーター」プログラムなどによる
 県外からの移住起業家、町民発起業、中小企業・伝統産業・小商い・農業など
 様々な形式・業種での田舎発事業が創出



県 / 土着ベンチャー(ドチャベン)プログラム

町 / 「女性 × 起業」プログラム

土着ベンチャーの広がり



伝統産業 × 新展開



町内事業者 × 新展開・雇用創出



農家 × 新商品

(左:キイチゴジャム / 右:キイチゴ黒ビール)



町民 × 起業

(左:訪問理美容 / 右:ベーグル卸業)



空き店舗・空き家 × 新事業



アートギャラリー「ものかたり」



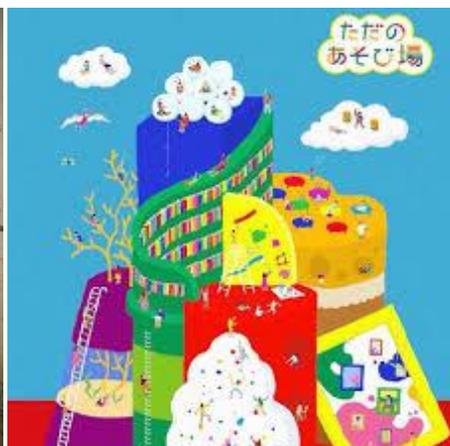
喫茶「いちカフェ」



福祿寿酒造 新拠点
「下夕町醸し室HIKOBÉ」



「ただのあそび場ゴジョーメ」



多世代拠点「んなのいえ」

シェアビレッジ・プロジェクト

- ・年会費＝「年貢」、交流会＝「寄合」、宿泊・体験＝「里帰」と位置づけ、都会と田舎のシェアリングコミュニティを構築。多くの人(村民)で各地の古民家を支える仕組み
- ・2015年5月、五城目町の築133年(当時)の茅葺古民家を「シェアビレッジ町村」としてオープン。グッドデザイン賞2015地域づくりデザイン賞受賞
- ・現在は全国約2000人の村民が参画。村民発の移住・起業も誕生

Makuake

プロジェクトをさがす プロジェクトを始める Makuakeとは? ログイン 新規登録

Success!

集まっている金額 5,717,000円
目標金額 1,000,000円

571%

862人 サポーター

0日 残り

再生

SHARE VILLAGE

年貢を納めて
村民になろう
[Time to pay the rice tax]

支援するコースを選択する

年貢を納めて村民に?! シェアビレッジ町村、村民1,000人募集します。

クラウドファンディングで村民募集・資金調達



シェアビレッジ町村



GOOD DESIGN
AWARD 2015
BEST
100

町の魅力発信／五城目ファンづくり

- ・町の魅力発信、来町者との関係性構築など、ご縁を大切にしながら情報を発信し、関係人口を増加する取り組み



五城目ファンミーティング@首都圏



SNSでの情報発信「こさけ！五城目」



映像“True North, Akita”

ごじょうめ朝市plus+（朝ぷら）

- ・520年の伝統を持ちながら、高齢化や出店者減少が続く五城目朝市において町民有志「**五城目朝市わくわく盛り上げ隊**」が若者らも新規出店できる環境を整備
- ・**小商いの機運が醸成**され、日曜市「**ごじょうめ朝市plus+（朝ぷら）**」は若者の出店も増加（80店舗）、平均3000名以上の来客。



教育環境の魅力化

- ・学力・体力日本一、地産地消の食育をはじめとした「教育環境の豊かさ」をより一層成熟させていく取り組みを推進
- ・国際教養大学(30カ国の留学生) × 小学校の年間連携授業「**ごじょうめで世界一周**」、東京大学大学院 × 地域の高校生の研究プロジェクト「**五城目ソーシャル・ラボ**」、小学校新校舎建設 × 地域住民の「**スクールトーク**」など



ごじょうめで世界一周(小学校)



五城目ソーシャル・ラボ(高校)

町民発企画

- ・町民による学びと実践の場「**ごじょうめ朝市大学**」を運営
- ・多様な町民発企画・事業が誕生。**マイプロジェクト**に取り組む町民の輪が拡大



上：野鳥の森でパーリー
右：四季で遊べる五城目ランド



世界一「こどもが育つ町」!

- ・子育て世代の移住・定住者、関係人口・五城目ファンが増加中
- ・一人一人がわくわく、皆でわいわいする循環の創造

